

その他の取組み

CASE：海面養殖で使用するブイ強度の強化

近年プラスチックによる海洋汚染が進んでおり、漁具や養殖器具を原因とするプラスチックの流出に対策が求められています。例えば、日本の海面養殖業で使用されるブイの多くは発泡スチロール素材（プラスチック）ですが、発泡スチロールは自然環境下における耐性が弱く、経年劣化によりプラスチックが海洋へ流出するリスクが考えられます。大洋エーアンドエフ（株）ではこのようなリスクを軽減させるため、より強度の強いHDPE（高密度ポリエチレン）素材のブイへの切替えを開始しました。既に5カ所の事業所（沖縄、高知・栢島、長崎・五島、山口・油谷、長崎・奈留）すべてにおいて導入が進んでおり、今後は導入生簀数の増加を推進します。



従来の発泡スチロール素材のブイ



強度を強化したHDPE素材のブイ